

10ギガビットイーサネット・スイッチ

CentreCOM[®] XS910 シリーズ ユーザーマニュアル

この度は、AT-XS910/8をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本製品は、100/1000/2.5G/5G/10GBASE-Tポートを8ポート装備した10ギガビットイーサネット・スイッチです。本書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、お読みになった後も大切に保管してください。

本製品のご使用にあたって

本製品は、医療・原子力・航空・海運・軍事・宇宙産業など人命に関わる場合や高度な安全性・信頼性を必要とするシステムや機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用を意図した設計および製造はされていません。

したがって、これらのシステムや機器としての使用またはこれらに組み込んで本製品が使用されることによって、お客様もしくは第三者に損害が生じて、かかる損害が直接的または間接的または付随的なものであるかどうかにかかわらず、弊社は一切の責任を負いません。

お客様の責任において、このようなシステムや機器としての使用またはこれらに組み込んで使用する場合には、使用環境・条件等に充分配慮し、システムの冗長化などによる故障対策や、誤動作防止対策・火災延焼対策などの安全性・信頼性の向上対策を施すなど万全を期されるようご注意ください。

1 特長

- 最大16KのMACアドレスを登録可能
オートネゴシエーション機能
MDI/MDI-X自動認識機能をサポート
BPDU/EAP透過(常時有効)
ポートごとの通信状況が一目でわかるLEDを装備
12,288ByteのJumboフレーム対応
ファンレス設計、動作時温度50℃に対応
省エネ機能をサポート
ループガード(LDF検出)機能をサポート
フローコントロール機能をサポート
HOLブロッキング防止機能をサポート

オプション(別売)

- 壁設置用ブラケットにより、壁面への設置が可能
壁設置用磁石でスチール面への取り付けが可能
ラックマウントキットにより、19インチラックマウントへの設置が可能
スタンドキットにより、縦置き設置が可能

AT-STND-J03

- L字型コネクタ電源ケーブルにより、奥行きを問わずに設置可能
AT-PWRCBL-J01R
AT-PWRCBL-J01L

製品の最新情報について

本製品リリース後の最新情報を弊社のホームページにてお知らせします。

http://www.allied-teselis.co.jp/

2 梱包内容

最初に、梱包箱の中に次のものが入っていることを確認してください。

- AT-XS910/8本体(1台)
電源ケーブル*1(1.8m, 1本)
電源ケーブル抜け防止フック(1個)
ゴム足(4個)
ゴム足用ネジ(M3 x 4.5mm 平頭ネジ)(4個)
梱包内容(1部)
本製品をお使いの前に(1部)
英文製品情報*2(1部)
製品保証書(1部)
シリアル番号シール(2枚)

*1 同梱の電源ケーブルはAC100V用です。AC200Vでご使用の場合は、設置業者にご相談ください。

同梱の電源ケーブルは本製品専用です。他の電気機器では使用できませんので、ご注意ください。

*2 日本語版マニュアルのみに従って、正しくご使用ください。



安全のために

必ずお守りください

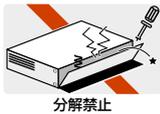


警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。



分解禁止

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

感電の原因となります。



雷のときはさわらない

異物を入れない 水は禁物

火災や感電のおそれがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源ケーブル・プラグを抜き、弊社サポートセンターまたは販売店にご連絡ください。



異物厳禁

通風口はふさがらない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。



ふさがらない

湿気やほこりの多いところ 油煙や湯気のあたる場所には置かない

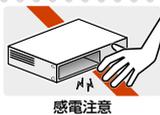
内部回路のショートの原因になり、火災や感電のおそれがあります。



設置場所注意

取り付け・取り外しのときはコネクタ・回路部分にさわらない

感電の原因となります。稼働中に周辺機器の取り付け・取り外し(ホットスワップ)に対応した機器の場合でも、コネクタの接続部分・回路部分にさわらないように注意して作業してください。



感電注意

表示以外の電圧では使用しない

火災や感電の原因となります。製品の取扱説明書に記載の電圧で正しくお使いください。なお、AC電源製品に付属の電源ケーブルは100V用ですのでご注意ください。



電圧注意

正しい配線器具を使用する

本製品に付属または取扱説明書に記載のない電源ケーブルや電源アダプター、電源コンセントの使用は火災や感電の原因となります。



正しい器具

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしないでください。たご足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。



たご足禁止

設置・移動のときは電源ケーブル・プラグを抜く

感電の原因となります。



ケーブルを抜く

ケーブル類を傷つけない

特に電源ケーブルは火災や感電の原因となります。ケーブル類やプラグの取扱上の注意
・加工しない、傷つけない。
・重いものを載せない。
・熱器具に近づけない、加熱しない。
・ケーブル類をコンセントなどから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。



傷つけない

光源をのぞきこまない

目に傷害を被る場合があります。光ファイバーインターフェースを持つ製品をお使いの場合は、光ファイバーケーブルのコネクタ、ケーブルの断面、製品本体のコネクタなどをのぞきこまないでください。



のぞきこまない

適切な部品で正しく設置する

取扱説明書に従い、適切な設置部品を用いて正しく設置してください。指定以外の設置部品の使用や不適切な設置は、火災や感電の原因となります。



正しく設置

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください

- 直射日光のあたる場所
暖房器具の近くなどの高温になる場所
急激な温度変化のある場所(結露するような場所)
湿気が多い場所や、水などの液体がかかる場所(仕様に定められた環境条件下でご使用ください)
振動の激しい場所
ほこりの多い場所や、ジュースを敷いた場所(静電気障害の原因になります)
腐食性ガスの発生する場所

静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊されるおそれがありますので、コネクタの接続部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。

取り扱いにはいねいに

落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えたりしないでください。



お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で誤動作の原因になります。

機器は、乾いた柔らかい布で拭く

汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤(中性)をしみこませ、固く絞ったもので拭き、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

お手入れには次のものは使わないでください

- 石油・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん・みがき粉
(化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書きに従ってください)

また、本製品を移送する場合は、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包することが望まれます。再梱包のために、本製品が納められている梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管しておいてください。

3 アイコンの説明

アイコン	意味	説明
	ヒント	知っているると便利な情報、操作の手助けになる情報を示しています。
	注意	物的損害や使用者が傷害を負うことが想定される内容を示しています。
	警告	使用者が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
	参照	関連する情報が書かれているところを示しています。

製品名の表記

「本製品」と表記されている場合は AT-XS910/8 を意味します。

4 各部の名称と機能

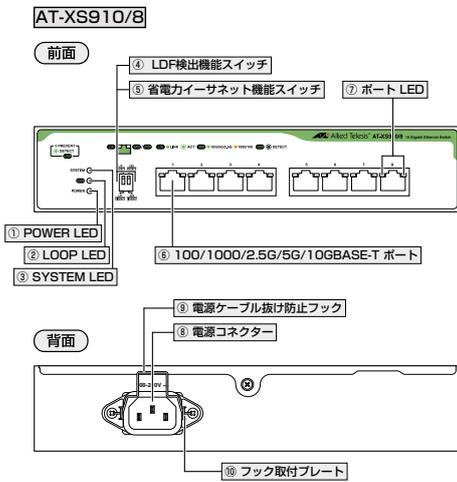


図 1 外観図

前面

- POWER LED (緑)**
電源が正しく供給されているときに点灯します。
- LOOP LED (緑)**
LDF 検出機能が有効なときに点灯します。ループを検出し、ポートを無効化しているときに点滅します。
- SYSTEM LED (赤)**
システムの起動中に点灯します。
- LDF 検出機能スイッチ**
LDF 検出機能の有効 (ENABLE)/ 無効 (DISABLE) を設定するスイッチです。出荷時設定は「無効 (DISABLE)」(下) 側です。
LDF 検出は、LDF (Loop Detection Frame) と呼ぶ特殊フレームを利用してネットワーク上のループを検出し、ポートの無効化を自動的に行う機能です。

LDF 検出の仕様

宛先 MAC アドレス	FF-FF-FF-FF-FF-FF
検出フレーム送信間隔	2 秒
ループ検出時アクション	ポート番号の大きいポートの無効化 (リンクダウンを伴わない)
アクション継続時間	90 秒

- ・ フローコントロールとは併用できません。
- ・ 電源ケーブルを抜き、再度電源ケーブルを接続することにより LDF 検出機能の設定が反映されます。
- ・ 配下の HUB やスイッチにて輻輳などにより LDF が消失した場合、ループを検出できない場合があります。
- ・ LDF 検出機能を有効にした本製品の最大接続数は 10 段ですが、推奨台数は 6 段となります。

⑤ 省電力イーサネット機能スイッチ

省電力イーサネット機能の有効 (ENABLE)/ 無効 (DISABLE) を設定するスイッチです。出荷時設定は「無効 (DISABLE)」(下) 側です。

IEEE 802.3az 省電力イーサネット (Energy Efficient Ethernet) 機能を有効にすると、ネットワークの性能に影響を与えることなく電力を削減することができます。



電源ケーブルを抜き、再度電源ケーブルを接続することにより省電力イーサネット機能の設定が反映されます。

⑥ 100/1000/2.5G/5G/10GBASE-T ポート

100/1000/2.5G/5G/10GBASE-T の UTP ケーブルを接続するためのコネクタです。

※ 本書では、100BASE-TX/1000BASE-T/2.5GBASE-T/5GBASE-T/10GBASE-T ポートを 100/1000/2.5G/5G/10GBASE-T ポートと表記します。



100M/1000M/2.5G/5G/10G Full Duplex の通信のみサポートしています。100M Half Duplex で使用することはできませんのでご注意ください。

⑦ ポート LED

L/A (LINK/ACTIVITY LED) (緑) (左)

ポートと接続先の機器がリンクしたときに点灯します。ポートがパケットを送受信しているときに点滅します。

SPD/LOOP LED (SPEED/LOOP LED) (緑/橙) (右)

2.5/5/10Gbps でリンクしているときは緑で点灯し、100/1000Mbps でリンクしているときは橙で点灯します。リンクしていないときは消灯します。2.5/5/10Gbps リンク時、ループを検出し、ポートを無効化しているときは緑で点滅し、100/1000Mbps リンク時、ループを検出し、ポートを無効化しているときは橙で点滅します。

背面

⑧ 電源コネクタ

電源ケーブルを接続するためのコネクタです。同梱の電源ケーブルは AC100V 用です。AC200V でご使用の場合は、設置業者にご相談ください。

⑨ 電源ケーブル抜け防止フック

電源ケーブルの抜け落ちを防止する金具です。ご購入時には、フックは取りはずされた状態で同梱されています。

⑩ フック取付プレート

電源ケーブル抜け防止フックを取り付けるプレートです。

5 設置

本製品の設置を始める前に、必ず「安全のために」をよくお読みください。

設置方法

本製品は、次の方法による設置ができます。

- 平らなところへの水平方向の設置
- オプション (別売) を利用することにより、次の方法による設置ができます。
- ラックマウントキットによる 19 インチラックへの設置
- 壁設置ブラケットによる壁面への設置
- 壁設置用磁石によるスチール製壁面への設置
- スタンドキットによる縦置き設置



・ 弊社指定品以外の設置金具を使用した設置を行わないでください。また、本書に記載されていない方法による設置を行わないでください。不適切な方法による設置は、火災、故障の原因となります。

・ 水平方向以外に設置した場合、「取り付け可能な方向」であっても、水平方向に設置した場合に比べほこりがたまりやすくなる可能性があります。定期的に製品の状態を確認し、異常がある場合には直ちに使用を止め、弊社サポートセンターにご連絡ください。



・ 使用状況や設置環境により、底面が熱くなる場合があります。設置や移動の際はやけどにご注意ください。

・ 製品に関する最新情報は弊社ホームページにて公開しておりますので、設置の際は、付属のマニュアルとあわせてご確認のうえ、適切に設置を行ってください。

設置準備

● 設置するときの注意

本製品を設置する場所を確認してください。設置場所については、次の点にご注意ください。

- 電源ケーブルや各メディアのケーブルが無理な力が加わるような設置は避けてください。
- テレビ、ラジオ、無線機などのそばに設置しないでください。
- 傾いた場所や、不安定な場所に設置しないでください。
- 底部を上にして設置しないでください。
- 十分な換気ができるように、本製品の通気口をふさがないように設置してください。
- 本体の上にものを置かないでください。
- 直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。
- 本製品は屋外ではご使用になれません。
- コネクタの端子にはさわらないでください。(静電気を帯びた手 (体) でコネクタの端子に触れると、静電気の放電により故障の原因となります。)

設置

● 平らなところへの水平方向の設置

本製品には、ゴム足とゴム足用ネジが同梱されています。本製品を卓上や棚などの水平な場所に設置する場合は、同梱のゴム足を使用してください。ゴム足は、本製品への衝撃を吸収したり、本製品の滑りや設置面の傷付きを防止したりします。

1. 本体底面の四隅のゴム足用ネジ穴に合わせ、ゴム足を置きます。
2. 四隅に置いたゴム足の上からゴム足用ネジを刺し、ネジ穴の位置とゴム足用ネジの位置がずれないように注意しながら、プラスドライバーでしっかりと固定します。

オプション (別売) を利用した設置

● 19 インチラックへの設置

本製品を 19 インチラックに取り付ける場合には、オプションの 19 インチラックマウントキット (AT-RKMT-J14/AT-RKMT-J15) をご使用ください。

- ・ ラックマウントキットの使用方法は、AT-RKMT-J14/AT-RKMT-J15 の取扱説明書をご参照ください。
- ・ 本製品は必ず下図の○の方向に設置してください。

AT-RKMT-J14



AT-RKMT-J15



図 2 19 インチラックマウントキットを使用する場合の設置方向



・ 必ず○の方向に設置してください。それ以外の方向に設置すると、正常な放熱ができなくなり、火災や故障の原因となります。

・ 本製品をオプションの 19 インチラックマウントキットを使用して 19 インチラックに取り付ける際は、適切なネジで確実に固定してください。固定が不十分な場合、落下などにより重大な事故が発生するおそれがあります。

・ ラックマウントキットの本製品への取り付けは、ラックマウントキットの取扱説明書に従って正しく行ってください。指定以外のネジなどを使用した場合、火災や感電、故障の原因となることがあります。



オプション (別売) の L 字型コネクタ電源ケーブルと AT-RKMT-J15 は同時に使用できません。



ラックマウントキットを使用する際は、本製品からゴム足を外した状態で設置してください。

● 壁設置ブラケットによる設置

本製品の壁面への設置は、別売の壁設置用ブラケット AT-BRKT-J24 を使用し、以下の点に注意して行ってください。

- 壁設置ブラケットの使用方法は、AT-BRKT-J24 の取扱説明書をご参照ください。
- 本製品は必ず下図の○の方向に設置してください。

AT-BRKT-J24

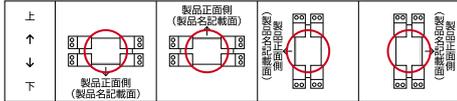


図3 壁設置ブラケットを使用する場合の設置方向

警告 必ず○の方向に設置してください。それ以外の方向に設置すると、正常な放熱ができなくなり、火災や故障の原因となります。

壁設置ブラケットを使用して壁面に取り付ける際は、適切なネジで確実に固定してください。固定が不十分な場合、落下などにより重大な事故が発生するおそれがあります。

ヒント 壁設置ブラケットに取り付け用ネジは同梱されていません。別途ご用意ください。

壁設置ブラケットを使用する際は、本製品からゴム足を外した状態で設置してください。

● マグネットによる設置

本製品のスチール製壁面への設置は、別売のマグネット Kit XS または、マグネットシート L を使用し、以下の点に注意して行ってください。

- マグネット Kit XS/ マグネットシート L の使用方法は、マグネット Kit XS/ マグネットシート L の取扱説明書をご参照ください。
- 本製品は必ず下図の○の方向に設置してください。

マグネット Kit XS、マグネットシート L



図4 壁設置用磁石を使用する場合の設置方向

警告 必ず○の方向に設置してください。それ以外の方向に設置すると、正常な放熱ができなくなり、火災や故障の原因となります。

マグネットの取り付けおよび機器の設置は、ケーブルなどの重みにより機器が落下しないように確実に行ってください。ケガや機器破損の原因となるおそれがあります。

マグネットの取り付けは、マグネット Kit XS/ マグネットシート L の取扱説明書に従って正しく行ってください。指定以外のネジなどを使用した場合、火災や感電、故障の原因となることがあります。

注意 設置面の状態によっては、マグネットの十分な強度を得られない場合があります。

ヒント マグネットを使用する際は、本製品からゴム足を外した状態で設置してください。

マグネットシート L を使用して設置する場合、動作時温度の上限は 45℃ になります。

● スタンドキットによる設置

本製品を垂直方向に設置する場合には、オプションのスタンドキット (AT-STND-J03) をご使用ください。

- スタンドキットの使用方法は、AT-STND-J03 の取扱説明書をご参照ください。
- 本製品は必ず下図の○の方向に設置してください。

AT-STND-J03

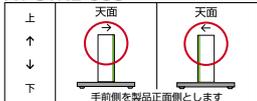


図5 スタンドキットを使用する場合の設置方向

ヒント スタンドキットを使用する際は、本製品からゴム足を外した状態で設置してください。



警告

必ず○の方向に設置してください。それ以外の方向に設置すると、正常な放熱ができなくなり、火災や故障の原因となります。

スタンドキットを使用して垂直方向に設置する際は、各パーツを確実に固定してください。固定が不十分な場合、転倒などによるケガや機器破損のおそれがあります。

本製品と壁面との間にスペースを空けることなく設置する場合は、必ず本製品の底面が壁面側になる方向に設置してください。



注意

設置方向 (電源コネクタの位置) によっては、L 字型コネクタ電源ケーブルが使用できない場合があります。

6 接続

ネットワーク機器の接続

● UTP/STP ケーブルの接続

UTP/STP ケーブルを使用して本製品と PC などの端末を接続します。本体の LAN ポート (RJ-45) に UTP/STP ケーブルの一端を接続し、もう一端をネットワークポートに接続します。



警告

STP ケーブルを介して接続される機器のアースは、必ず同電位の場所に接続するようにしてください。アースの電位が異なる機器同士を STP ケーブルで接続すると、ショートや故障の原因となる恐れがあります。



ヒント

UTP/STP ケーブルのコネクタ部を持ち、カチッと音がするまで差し込んでください。

● UTP/STP ケーブルのカテゴリ

100BASE-TX の場合はカテゴリ 5 以上、1000BASE-T/2.5GBASE-T/5GBASE-T の場合はエンハンスト・カテゴリ 5 以上、10GBASE-T の場合^{*1} はカテゴリ 6 の UTP/STP ケーブル、カテゴリ 6A の STP ケーブルのいずれかを使用します。

^{*} 1 隣接したケーブルや外部からのノイズの影響を低減するため、STP ケーブルの使用をおすすめします。

● UTP/STP ケーブルのタイプ

MDI/MDI-X 自動認識機能により、接続先のポートの種類 (MDI/MDI-X) にかかわらず、ストレート / クロスのどちらのケーブルタイプでも使用することができます。10GBASE-T で接続する場合は、不要なトラブルを避けるため、ストレートタイプを使用することをおすすめします。

● UTP/STP ケーブルの長さ

100BASE-TX/1000BASE-T/2.5GBASE-T/5GBASE-T の場合は最大 100m、10GBASE-T の場合は UTP カテゴリ 6 は最大 55m、STP カテゴリ 6/6A は最大 100m と規定されています。なお、2.5G/5G/10GBASE-T の最大伝送距離は理論値であり、実際の伝送距離は使用環境によって異なりますので、ご注意ください。

電源の接続 (本製品の起動)

本製品では、次の電源ケーブルを使用できます。

- 同梱の電源ケーブル (AC100V 用)
- オプション (別売) の L 字型コネクタ電源ケーブル (AC100V 用)
 - 背面スペースが限られた場所でも、奥行きをとらずに設置できます。
 - AT-PWRCBL-J01L
 - AT-PWRCBL-J01R



警告

同梱、またはオプション (別売) の接地端子付きの 3 ピン電源ケーブルを使用し、接地端子付きの 3 ピン電源コンセントに接続してください。

同梱、およびオプション (別売) の電源ケーブルは AC100V 用です。本製品を AC200V で使用する場合は、設置業者にご相談ください。不適切な電源ケーブルや電源コンセントを使用すると、発熱による発火や感電のおそれがあります。



注意

本製品には電源スイッチがありません。電源ケーブルを電源コンセントに接続した時点で、電源が入りますのでご注意ください。

オプション (別売) の L 字型コネクタ電源ケーブルと同梱の電源ケーブル抜け防止フックは同時に使用できません (L 字型コネクタ電源ケーブルは、同梱の電源ケーブルに比べて抜けにくいケーブルです)。

1. 電源ケーブル抜け防止フックを取り付けます。

同梱の電源ケーブル抜け防止フックを電源コネクタのフック取付プレートに取り付けます。

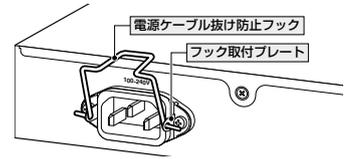


図6 電源ケーブル抜け防止フックの取り付け

2. 電源ケーブルを電源コネクタに接続します。

3. 電源ケーブル抜け防止フックで電源ケーブルが抜けないようにロックします。

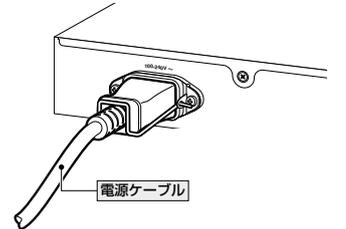


図7 電源ケーブルの固定

4. 電源ケーブルの電源プラグを電源コンセントに接続します。

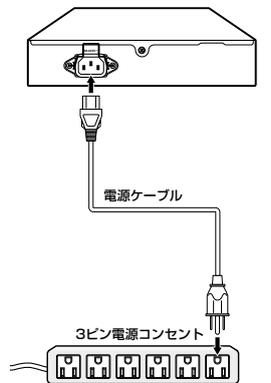


図8 電源ケーブルの接続

このとき、本体前面の「POWER LED」が緑で点灯することを確認してください。

UTP ケーブルが正しく接続され、接続先機器とのリンクが確立されると、接続したポートの「L/A LED」が緑で点灯します。

本製品の停止

本製品を停止するには電源コンセント側の電源プラグを抜いてください。



警告

電源を抜くときには、本体側の接続を先に抜かないでください。感電事故を引き起こすおそれがあります。



ヒント

本製品を停止してから再度起動する場合は、しばらく間をあけてください。

7 構成

本製品はスタンドアロンでご使用いただけるほか、下図のとおりカスケード接続でもご使用いただけます。

カスケード接続

本製品は MDI/MDI-X 自動認識機能をサポートしています。



ヒント

スイッチ同士のカスケード接続は、カスケードできる数に理論上の制限がありません。そのため、用途に合わせてネットワークを拡張することができます。

^{*} LDF 検出機能有効時は、LDF 検出機能の制限回数に準じます。

カスケードの段数はネットワーク上で動作しているアプリケーションのタイムアウトによって制限される場合があります。

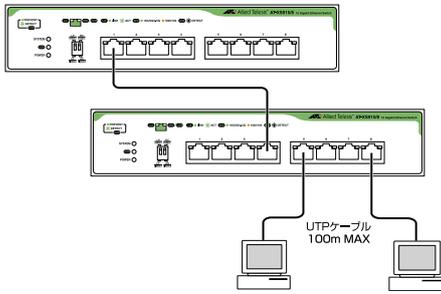


図9 カスケード接続

8 トラブルシューティング

「通信できない」とか「故障かな?」と思われる前に、以下のことを確認してください。

● POWER LED は点灯していますか?

「POWER LED」が点灯していない場合は、電源ケーブルに断線がなく正しく接続されているか、正しい電源電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。

● 機器を停止後、すぐに起動していませんか?

本製品を停止してから再度起動する場合は、しばらく間を空けてください。

● L/A LED(LINK/ACTIVITY LED)は点灯していますか?

「L/A LED」は接続先機器と正しく接続されている場合に点灯します。点灯しない場合、以下のことを確認してください。

- 接続先機器に電源が入っていることを確認してください。接続先機器が障害がなく通信可能な状態にあることを確認してください。
- 正しいUTP/STPケーブルが断線なく正しく接続されていることを確認してください。
- UTP/STPケーブルに問題がないか確認してください。
UTP/STPケーブルの不良は外観からは判断しにくいため(結線は良いが特性が悪い場合など)、他のUTP/STPケーブルに交換して試してみてください。
- UTP/STPケーブルの長さが制限を超えていないことを確認してください。100BASE-TX/1000BASE-T/2.5GBASE-T/5GBASE-Tの場合は最大100m、10GBASE-Tの場合はUTPカテゴリ6は最大55m、STPカテゴリ6/6Aは最大100mと規定されています。
- UTP/STPケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。特定のポートが故障している可能性もあります。
- 接続先機器の通信モードを確認してください。

本製品はオートネゴシションによる接続のみをサポートしています。また、Half Duplexでの接続はサポートしていませんので、接続先の機器もオートネゴシションをサポートしていることを確認してください。

9 製品仕様

準拠規格	
IEEE 802.3 10BASE-T IEEE 802.3u 100BASE-TX IEEE 802.3ab 1000BASE-T IEEE 802.3bz 2.5GBASE-T/5GBASE-T IEEE 802.3an 10GBASE-T IEEE 802.3x Flow Control IEEE 802.3az Energy-Efficient Ethernet	
適合規格¹⁾	
CE	
安全規格	UL62368-1, CSA-C22.2 No.62368-1
EMI規格	VCCIクラスA
EU RoHS 指令	
電源部	
定格入力電圧	AC90-264V
入力電圧範囲	AC100-240V
定格周波数	50/60Hz
定格入力電流	0.6A
最大入力電流(実測値)	0.52A
平均消費電力	23W(最大27W)
平均発熱量	84kJ/h(最大97kJ/h)
環境条件	
動作時温度	0~50℃ ²⁾
動作時湿度	5~90%(結露なきこと)
保管時温度	-25~70℃
保管時湿度	5~95%(結露なきこと)
外形寸法(突起部含まず)	
	210(W)×275(D)×42.5(H)mm
質量	2.2kg
スイッチング方式	
	ストア&フォワード
MACアドレス登録数	
	16K ³⁾
MACアドレス保持時間	
	300秒
メモリー容量	
パケットバッファ容量	1.5MByte

- *1 当該製品においては「中国版RoHS指令(China RoHS)」で求められるEnvironment Friendly Use Period(EFUP)ラベル等を記載している場合がありますが、日本国内での使用および日本から中国を含む海外へ輸出した場合も含め、弊社では未サポートとさせていただきます。証明書等の発行も原則として行いません。
- *2 マグネットシートLを使用して設置する場合、動作時温度の上限は45℃になります。
- *3 表中では、K=1024

10 保証と修理

本製品の保証内容は、製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」に記載されています。製品をご利用になる前にご確認ください。本製品の故障の際は、保証期間の内外にかかわらず、弊社修理受付窓口へご連絡ください。

アライドテレスIS株式会社 修理受付窓口

<http://www.allied-tesis.co.jp/support/repair/>

☎ 0120-860332

携帯電話/PHSからは: 045-476-6218
月~金(祝・祭日を除く) 9:00~12:00
13:00~17:00

● 保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない)につきましても、弊社はその責を一切負わないものとします。

11 ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、次の「サポートに必要な情報」をご確認のうえ、弊社サポートセンターへご連絡ください。

アライドテレスIS株式会社 サポートセンター

<http://www.allied-tesis.co.jp/support/info/>

☎ 0120-860772

携帯電話/PHSからは: 045-476-6203
月~金(祝・祭日を除く) 9:00~12:00
13:00~17:00

12 サポートに必要な情報

お客様の環境で発生した様々な障害の原因を突き止め、迅速な障害の解消を行うために、弊社担当者が障害の発生した環境を理解できるよう、以下の点についてお知らせください。なお、都合により連絡が遅れることもございますが、あらかじめご了承ください。

● 一般事項

すでに「サポートID番号」を取得している場合、サポートID番号をお知らせください。サポートID番号をご記入いただいた場合には、ご連絡先などの詳細は省略していただいても構いません。

- サポートの依頼日
- お客様の会社名、ご担当者名
- ご連絡先
- ご購入先

● 製品について

シリアル番号とリビジョンをお知らせください。

シリアル番号とリビジョンは、本体に貼付されている(製品に同梱されている)シリアル番号シールに記載されています。



図10 シリアル番号シール(例)

S/N以降のひと続きの文字列がシリアル番号、スペース以降のアルファベットで始まる文字列(上記例の「A1」部分)がリビジョンです。

● 設定やLEDの点灯状態について

- スイッチ類の設定状態をお知らせください。
- LEDの点灯状態をお知らせください。

● お問い合わせ内容について

- どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかをできる限り具体的に(再現できるように)お知らせください。

● ネットワーク構成図について

- ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図をあわせてお送りください。
- 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをお知らせください。

13 ご注意

本書に関する著作権などの知的財産権は、アライドテレスIS株式会社(弊社の親会社であるアライドテレスISホールディングス株式会社)が所有しています。アライドテレスISホールディングス株式会社の同意を得ることなく本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。弊社は、予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがあります。弊社は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

© 2021 アライドテレスISホールディングス株式会社

14 商標について

CentreCOMは、アライドテレスISホールディングス株式会社の登録商標です。

15 電波障害自主規制について

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

16 廃棄方法について

本製品を廃棄する場合は、法令・条例などに従って処理してください。詳しくは、各地方自治体へお問い合わせいただきますようお願いいたします。

17 輸出管理と国外使用について

お客様は、弊社販売製品を日本国外への持ち出しまたは「外国為替及び外国貿易法」にいう非居住者へ提供する場合、「外国為替及び外国貿易法」を含む日本政府および外国政府の輸出入関連法規を厳密に遵守することに同意し、必要とされるすべての手続きをお客様の責任と費用で行うことといたします。

弊社販売製品は日本国内仕様であり、日本国外においては製品保証および品質保証の対象外になり、製品サポートおよび修理など一切のサービスが受けられません。

18 マニュアルバージョン

2021年12月 Rev.A 初版